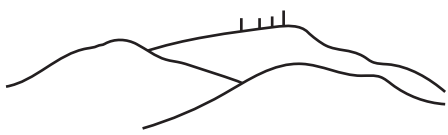


Youth Manna

2021/2/15 - 2/21



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/2/15(月)

民数記 21:21-35

いよいよ約束の地を目前にして、イスラエルの新しい世代は初めて戦いを経験します。アモリ人の王シホンとバシャンの王オグとの戦いです。戦いをまだ経験していない新世代の民はどんな気持ちだったでしょうか？みんなが同じ立場だったらどうか、想像してみよう。

しかし神様は彼らに勝利の約束を与えておられました(申命記 2:24,33,3:2-3)。二人の王は強大でしたが、神様のことばを信じた民は神の勝利と栄光を見ました。

勝利は、神様のことばと、それを信じる信仰によってもたらされます。あなたの前にある戦いは何だろう？敗北を感じてしまうのはどんな時だろう？今日、勝利のある生活を送ることが出来るように祈ろう！みことばを思い出そう！

2021/2/16(火)

民数記 22:1-20

モアブの王バラクは、イスラエルの民の強さを知って恐れて、はるか北のペトエルにいる有名な占い師バラムを褒美で雇ってイスラエルを呪わせようしました。(3.5)バラムは主が告げられるとおりに返答すると言いイスラエルを呪うことはしませんでした。

(8)しかし、2回目にバラクの使いが来た時に、神様の御心は変わらないと知りつつも褒美に心が揺れたのか、使いに「帰りなさい」と言わず、もう一度主に聞くと行ってバラクの使いがとどまるようにしました。(18.19)

私達も神様の御心を知りつつも自分の願いに固執してしまうことはないかな？？どんな時も神様に従えるように祈ろう！！

2021/2/17(水)

民数記 22:21-41

バラクのもとに行こうとするバラムに、主の使いが敵対して道に立ちはだかった(22)。主はバラムが行くことを許容していたのに、なぜ怒り、立ちはだかったのだろうか。32節には「わたしの道を踏み外していたからだ。」とある。バラムは主の使いを避ける口ばに怒り、三度も鞭で打つ。怒りが収まらないバラムに対し、主の使い方は彼の目の覆いを除かれた(31)。バラムは叱責を受け、自分の愚かさに気がついた。

主は私たちの愚かさを知って下さっていて(詩篇 69:5)、あわれんでくださる。主に祈り、感謝しよう。

2021/2/18(木)

民数記 23章

今日の箇所では、バラクが占い師バラムにイスラエルの民を呪わせようとしたエピソードが語られている。呪わせようと三度繰り返したが、神さまがバラムに与えたことばはイスラエルに対する呪いではなく祝福だった。

19v「神は人ではないから、偽りと言うことがない。人の子ではないから、悔いることがない。神が仰せられたら、実行されないだろうか。語られたら、成し遂げられないだろうか。」

神さまは私たちに祝福を命じておられ、必ず成される。感謝しよう！！

チョコミントの日 2021/2/19(金)

民数記 24章

▶バラムはイスラエルを呪うのではなく、祝福することが主の目にかなうことを知った。そして神の霊が彼の上に臨み、23章に続いて3度目のイスラエルを祝福することばを語った(2-9)。

▶続けてバラムは1人の王について預言をした(15-19)。ヤコブから出る1つの星とはダビデか、イエスカ、再臨のキリストか定かではない。しかし、この預言が主からのものであった。このような預言を、異邦人の呪術師が行ったことは驚きだ。

▶イエスが生まれたときも、異邦人の博士たちが用いられた(マタイ2章)。すべての人が救われて、真理を知ることが望んでおられる主は(1テモテ2:4)、私たちの思い込みをはるかに超えて働かれる。

▶家族、友人のためにお祈りしよう：彼ら彼女らのために、私を用いて下さい。

2021/2/20(土)

民数記 25章

イスラエルの人々は、別の文化の人たちの中で、性的な罪を犯して、一族のかしらである人でさえ、神様を礼拝するところで罪を犯してしまう状況だった。

そこに神様の怒りがぐだってしまったんだ。その中でピネハスが主のねたみを自分のねたみとした、と評価をされているね。私たちの周りでも恋愛、勉強、部活、友達関係…いろんな価値観がある。友だちが「当たり前」と言ってること一つ一つに対して、神様はどう思っているか確認していく必要が私たちにはあるんだ。

神様が喜ぶことを喜び行動したり、神様が悲しむことを自分の悲しみとして「しないこと」を選んだり…その信仰が励まされるよう祈ろう！

2021/2/21(日)

民数記 26:1-34

この人口調査は主の罰の後に行われ、部族によっては以前の調査の半分以上に減っている部族もありました。ここで数えられた人たちは、神様への反逆によって、厳しいしるしを経験しながらも、神様の恵みによって生かされた者たちでした。ひどい反逆があってもなお、神様は恵みによって民を生かして下さったんだね。

困難がある時、思い通りにいかない時、民たちの思いはどこに向いたのでしょうか。同じように、私たちの目は、心はどこに向くのでしょうか。

いつも主の恵みを覚えて歩むことができるように祈り、今月の目標とみことばを思い巡らそう。私たちの罪を赦し、再び立たせてくださる神様、あなたの恵みを感謝します。私たちは忘れやすい者ですから、神様の恵みを忘れることなく、覚えて歩むことができるように助けてください。